

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 | | 実施状況 | 効果 | 担当課 |
|-----|--------------------|---|------|------|-------------|-------------|---|--|--------|
| | | | | | | うち交付金 | | | |
| | | | | | 371,578,472 | 288,644,000 | | | |
| 1 | 感染防止対策事業 | 庁舎の感染防止対策(マスク・消毒液・次亜塩素酸生成器・飛沫防止シート等)の買い、「新しい生活様式」に対応する。 | R2.4 | R3.3 | 2,113,461 | 2,113,461 | マスク、消毒液などの庁舎の感染防止対策に要する物品を購入した。また、窓口に飛沫防止シートを設置した。 | 非常に効果的であった。庁舎の感染症対策用品を整備することにより、「新しい生活様式」への対応や来庁者の安心につなげることができた。 | 総務政策課 |
| 2 | 江北型「店舗休業支援金」 | 佐賀県が行う休業要請に応じた中小企業・小規模事業者等への佐賀県が給付する協力金の支給開始までの繋ぎ協力金(上限150千円/1事業者)を支給する。 | R2.4 | R2.8 | 6,616,064 | 6,616,064 | 佐賀県が行う休業要請に応じた中小企業・小規模事業者等への佐賀県が給付する協力金の支給開始までの繋ぎ協力金を支給した。44店舗へ支給 | 非常に効果的であった。店舗の休業及び時短営業で影響を受けた事業者の営業継続につなげることができた。 | 地域振興課 |
| 3 | こうほくふるさと便事業 | 関係人口や親元を離れた学生等に対し、情報発信や当該地域の産品等を購入し送付することにより、新型コロナウイルス禍での生活を支援するとともに、人とふるさとの繋がりを醸成する。 | R2.4 | R3.3 | 10,329,473 | 10,329,473 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため都道府県をまたぐ帰省を自粛した親類および町にゆかりのある方へ発送した。のべ5,163名(第1便2,221名、第2便1,498名、第3便1,444名)へ発送 | 効果的であった。関係人口や親元を離れた学生等に対し新型コロナウイルス禍での生活を支援するとともに、人とふるさとのつながりを感じてもらうことができた。 | 地域振興課 |
| 4 | プレミアム付商品券事業 | 特別定額給付金の支給に合わせ、10千円の商品券に2千円のプレミアムを付加した商品券を販売し、町内における購買需要と消費を喚起 | R2.6 | R3.3 | 33,375,765 | 33,375,765 | 町内小売店等で利用可能な12千円の商品券を10千円で販売(プレミア率20%) 15,000セット販売 | 非常に効果的であった。プレミアム付き商品券の発行により、町内の取扱い店にて消費され、地域経済の活性化につながった。 | 地域振興課 |
| 5 | 乳幼児健診感染対策事業 | 免疫力の弱い乳幼児の健診について、3密を回避するために健診実施回数を増やす | R2.5 | R3.3 | 1,588,740 | 1,588,740 | 3密を回避するために乳幼児健診の実施回数を2倍に増やす。 12回→24回 | 効果的であった。乳幼児健診の回数の増加により、感染リスクが軽減され免疫力の弱い乳幼児の保護者の安心感につながった。 | 健康福祉課 |
| 6 | 健康増進普及啓発事業 | 新型コロナウイルス感染防止を目的とした外出自粛を要因として、筋力や活力の低下によって生じる健康被害を予防する。 | R2.5 | R3.3 | 420,000 | 420,000 | 町民の健康の保持・増進とともに健康意識を向上させるためのリーフレットを作成し、普及啓発を行った。 | 効果的であった。筋力や活力の維持になる活動を紹介することで健康被害の防止につながった。 | 健康福祉課 |
| 7 | スクールカウンセラー相談体制強化事業 | 心のケアを必要とする児童生徒にスクールカウンセリングを行う。 | R2.5 | R3.3 | 500,000 | 500,000 | 心のケアを必要とする児童生徒にスクールカウンセリングを行う。小学校50時間、中学校50時間。 | 効果的であった。新型コロナウイルス禍における小中学生の心をケアすることができた。 | こども教育課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 | | 実施状況 | 効果 | 担当課 |
|-----|-----------------|--|------|------|------------|------------|--|--|--------|
| | | | | | | うち交付金 | | | |
| 8 | 元気復活応援金事業 | 新型コロナウイルスの影響により、前年度と比較して令和2年1-5月の収入が減少した(給与所得者・事業者)及び市場価格が下落したことにより収入が減少した農業者で既存の制度により救済できない者について支援する。 | R2.5 | R3.3 | 34,604,232 | 34,604,232 | 新型コロナウイルスの影響により、前年度と比較して令和2年1-5月の収入が減少した(給与所得者・事業者)及び市場価格が下落したことにより収入が減少した農業者で既存の制度により救済できない者について支援した。135件申請 | 効果的であった。 新型コロナウイルスの影響により収入が減少した事業者等に対し支援金を交付することで、事業の継続につなげることができた。また、既存の制度では救済できない農業者等への支援を行い、きめ細かな支援をすることができた。 | 地域振興課 |
| 9 | 学校給食費助成事業 | 新型コロナウイルス感染症を要因とした学校の臨時休業措置及びその代替授業の実施に伴う給食原材料の数量変動及び家庭の臨時支出の増を支援 | R2.4 | R3.3 | 38,634,264 | 1,241,620 | 臨時休校の代替授業として夏季休業中の5日分を支援。 | 効果的であった。 新型コロナウイルス感染症を要因とした学校の臨時休業措置による、夏季休業中の代替授業の実施に伴う給食原材料を負担することで家庭の臨時支出の増加を支援することができた。 | こども教育課 |
| 10 | 健康ポイント事業 | 健康づくりの継続支援を行うものであり、外出自粛等の影響を踏まえた健康づくりの増進を図る。 | R2.4 | R3.3 | 4,646,190 | 4,646,190 | 健康ポイント事業の実施 令和3年6月～令和4年1月 | 効果的であった。 健康づくりの増進を図ることができた。 | 健康福祉課 |
| 11 | 新型コロナ対応型避難所整備事業 | 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営に必要な設備を整備する。 | R2.6 | R3.3 | 7,467,323 | 7,467,323 | 体温計、避難所用パーティション、避難所用扇風機等を整備した。 | 効果的であった。 町内の指定避難所において新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営に必要な備品等を整備することにより、町民の安心につなげることができた。 | 総務政策課 |
| 12 | 江北エコバック配布事業 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため買い物の回数を減らし、1回あたりの買い物量が増加している者を支援するため、独自のエコバックを配布する。 | R2.6 | R2.9 | 3,726,250 | 3,726,250 | 各世帯に独自のエコバックを配布した。 2,365個配布 | 効果的であった。 町が制作した独自のエコバックを配布し、1回あたりの買い物の量が増加しているものを支援することができた。 | 町民生活課 |
| 13 | 江北つながる事業 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、やむを得ず実施できないイベント等について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止配慮型の代替事業を実施することにより、人と人のつながりを深める。 | R2.9 | R3.3 | 1,363,630 | 1,363,630 | 3事業においてコロナに対応した方法で実施した 老人福祉大会→敬老の日お祝いメッセージ事業 こども交流団派遣→給食交流 成人式→感染対策を徹底した成人式開催 | 効果的であった。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、やむを得ず実施できないイベント等について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止配慮型の代替事業を実施することにより、人と人のつながりを深めることができた。 | 総務政策課 |
| 14 | 事業所等の感染防止対策支援事業 | 「新しい生活様式」に対応した感染防止対策を行う事業所等に対し、感染予防のための設備等に要した費用の一部を補助することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組みを推進し、経済の活性化を図る。 | R2.9 | R3.3 | 14,968,948 | 14,968,948 | 事業所が行う新型コロナウイルス感染症感染防止対策への補助を行った。 159事業所 | 非常に効果的であった。 「新しい生活様式」に対応した感染防止対策を行う事業所等に対し、感染予防のための設備等に要した費用の一部を補助することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組みを推進し、経済の活性化を図ることができた。 | 地域振興課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 | | 実施状況 | 効果 | 担当課 |
|-----|--------------------------|---|------|------|------------|------------|--|--|--------|
| | | | | | | うち交付金 | | | |
| 15 | 検診業務感染症対策事業 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、3密を回避するためにがん検診の実施回数を増やす | R2.9 | R3.3 | 74,206 | 74,206 | がん検診の回数を年9回に増加し実施した。 | 効果的であった。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、3密を回避するためにがん検診の実施回数を増やし受診者の安心感につながった。 | 健康福祉課 |
| 16 | 小・中学校の新型コロナウイルス感染症拡大防止事業 | 新型コロナウイルス感染症により、小・中学校の修学旅行が中止となった場合のキャンセル料の補助。 | R2.9 | R3.3 | 175,655 | 175,655 | 小学校6年生、中学校3年生の修学旅行費キャンセル料の補助をおこなった。 | 効果的であった。 新型コロナウイルス感染症により、小・中学校の修学旅行が中止となった場合のキャンセル料を補助することにより家計の負担軽減をすることができた。 | こども教育課 |
| 17 | 教育支援体制整備事業費補助金 | (補習等のための指導員等派遣事業) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行う消毒や検温等の業務をサポートするために、スクール・サポート・スタッフによる支援の拡充する。 | R2.9 | R3.3 | 720,291 | 288,291 | スクールサポートスタッフによる消毒や検温等支援の拡充を行った。 | 効果的であった。 消毒や検温等の業務をサポートし、学校職員の負担軽減、新型コロナウイルス感染症拡大防止につながった。 | こども教育課 |
| 18 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために消毒液等を購入する。 | R2.9 | R3.3 | 296,816 | 159,816 | 小中学校における消毒液等の感染予防用品の整備を行った。 | 効果的であった。 小中学校において新型コロナウイルス感染症拡大防止につながった。 | こども教育課 |
| 19 | 農業者・事業者応援事業 | プレミアム商品券事業の商品券購入者に3千円分の産品を提供することによって、町内における農産物等の消費を喚起し、事業者を支援する。 | R2.4 | R3.3 | 61,785,582 | 61,785,582 | プレミアム商品券の購入者に3千円分の産品を提供した。 14,897件申請 | 非常に効果的であった。 プレミアム商品券事業の商品券購入者に3千円分の産品を提供することによって、町内における農産物の消費を喚起し、事業者を支援することができた。 | 地域振興課 |
| 20 | 庁舎等感染対策強化事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の強化と新しい生活様式に対応するため、庁舎設備を整備。 | R2.9 | R3.3 | 1,569,640 | 1,569,640 | AI体温検知カメラ、サーマルカメラの購入。折りたたみパネル設置工事の実施。 | 非常に効果的であった。 庁舎設備を整備することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の強化と新しい生活様式に対応した。 | 総務政策課 |
| 21 | 庁舎Wi-Fi環境整備事業 | 「新しい生活様式」に対応し、遠隔会議の環境を構築するため、庁舎設備を整備。 | R2.9 | R3.3 | 527,675 | 527,675 | モバイルルーター5台、ノートパソコン2台、プロジェクタ、スピーカーを整備し、遠隔会議の環境整備を行った。 | 効果的であった。 「新しい生活様式」に対応し、遠隔会議の環境を構築するため、庁舎設備を整備した。遠隔会議の参加により感染リスクの軽減につながった。 | 総務政策課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 | | 実施状況 | 効果 | 担当課 |
|-----|---|---|-------|------|-----------|-----------|--|---|--------|
| | | | | | | うち交付金 | | | |
| 22 | 交通量調査 | 人々の行動をデータで可視化することにより、住民が自ら外出を控えるなど「新しい生活様式」に対応した行動の変容を促すための調査を実施。 | R2.9 | R3.3 | 5,464,800 | 5,464,800 | 新しい生活様式での道路整備に向けて交通量可視化を行った。 | 効果的であった。 調査を行うことでデータで可視化でき、新しい生活様式での道路整備につなげることができた。 | 基盤整備課 |
| 23 | 防災行政無線整備事業 | 「新しい生活様式」への対応や新型コロナウイルス感染症の感染予防の注意喚起を迅速に行うため、情報発信の在り方を再構築する。 | R2.9 | R3.3 | 3,850,000 | 3,850,000 | 「新しい生活様式」への対応や新型コロナウイルス感染症の感染予防の注意喚起を迅速に行うため、情報発信の在り方を再構築した。 | 効果的であった。 「新しい生活様式」への対応や新型コロナウイルス感染症の感染予防の注意喚起を迅速に行うため、情報発信の在り方を再構築できた。 | 総務政策課 |
| 24 | 新型コロナウイルス感染症に有効対処するためのインフルエンザワクチン接種助成事業 | 流行が危惧されているインフルエンザと新型コロナウイルスの症状が類似しており、インフルエンザを切り分けて新型コロナウイルス感染症に対して有効な対処ができるよう、インフルエンザの予防接種を推進する。 | R2.9 | R3.3 | 1,620,000 | 1,620,000 | インフルエンザワクチン接種済の65歳以上に1人あたり1千円のクーポン券を配布した。 1,620枚配布 | 効果的であった。 流行が危惧されているインフルエンザと新型コロナウイルスの症状が類似しており、インフルエンザを切り分けて新型コロナウイルス感染症に対して有効な対処ができるよう、インフルエンザの予防接種を推進することができた。 | 健康福祉課 |
| 25 | 飛沫防止のためのトイレ抗菌洋式化改修事業 | 飛沫飛散による新型コロナウイルス感染拡大を防止するために抗菌の洋式トイレに改修する。 | R2.12 | R3.3 | 2,750,000 | 2,750,000 | 中学校トイレの洋式化を行った | 効果的であった。 トイレの洋式化によって飛沫飛散による新型コロナウイルス感染拡大防止につながった。 | こども教育課 |
| 26 | 生活交通路線バス運行支援金 | コロナ禍における日常の通勤通学の足として運行している生活交通路線の維持のため、限度額を定めて支援金を交付する。 | R2.4 | R3.5 | 5,586,000 | 5,400,000 | バス事業者へ支援金を交付した。 | 効果的であった。 日常の通勤通学の足として運行している生活交通路線を維持することができた。 | 総務政策課 |
| 27 | 町内循環バス運行支援金 | コロナ禍における日常の通勤通学の足として運行している循環路線の維持のため、限度額を定めて支援金を交付する。 | R2.4 | R3.5 | 2,896,000 | 2,000,000 | バス事業者へ支援金を交付した。 | 効果的であった。 日常の通勤通学の足として運行している町内循環を維持することができた。 | 総務政策課 |
| 28 | 江北町時短要請協力金事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、佐賀県の時短要請に協力する事業者に対して、1店舗28万円を協力金として給付する。 | R3.1 | R3.3 | 8,120,588 | 8,120,588 | 佐賀県の時短要請に協力する事業者に対して、1店舗28万円の協力金を支給した。 29件(飲食店のみ) | 効果的であった。 佐賀県の時短要請に協力する事業者に対して、1店舗28万円の協力金を支給することにより事業者の営業継続につながった。 | 地域振興課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 | | 実施状況 | 効果 | 担当課 |
|-----|---------------------------|--|-------|-------|------------|------------|--|---|--------|
| | | | | | | うち交付金 | | | |
| 29 | 確定申告感染症対策事業 | 所得税確定申告及び住民税申告会場の感染拡大防止のため、3密対策を行う。 | R3.1 | R3.3 | 263,394 | 249,424 | 所得税確定申告及び住民税申告会場の感染拡大防止のため、待機所の確保や申告者の誘導などに配慮した3密対策を行った。 | 効果的であった。 所得税確定申告及び住民税申告会場の感染拡大防止のため、3密対策を行った。 | 町民生活課 |
| 30 | 江北町元気クーポン券事業 | 町内の小規模事業所で使用できるクーポン券を交付することにより、町内における消費を喚起する。 | R3.1 | R4.3 | 33,323,899 | 33,254,399 | 町民へ3,000円分のクーポン券を支給した。9,709名へ発送 | 効果的であった。 町内における消費の喚起、町内の小規模事業者の営業維持につながった。 | 地域振興課 |
| 31 | 幼児教育施設の新型コロナウイルス感染症拡大防止事業 | 幼児教育施設の便器を抗菌及び洋式化することにより、幼児等の飛沫感染を防止するとともに、洗浄に必要な時間を短縮することにより、保育者や保育補助者の感染拡大を防止する。 | R2.12 | R3.3 | 1,540,000 | 1,540,000 | 幼児教育施設の便器の抗菌化および洋式化を行った。 | 効果的であった。 便器を抗菌及び洋式化することにより、幼児等の飛沫感染を防止するとともに、洗浄に必要な時間を短縮することにより、保育者や保育補助者の感染拡大を防止することができた。 | こども教育課 |
| 32 | 小児時間外診療支援金 | コロナ禍における小児時間外診療の実施のため、支援金を交付することにより、円滑な診療体制を維持する。 | R2.4 | R3.3 | 742,886 | 137,268 | 小児時間外診療実施のため、支援金を交付した。 | 効果的であった。 コロナ禍における小児時間外診療の実施のため、支援金を交付することにより、円滑な診療体制を維持することができた。 | 健康福祉課 |
| 33 | 出先拠点VPN構築工事 | 本庁と出先機関5か所をVPNでつなぎ、インターネット環境の改善。 | R2.4 | R3.3 | 844,800 | 844,800 | 本庁と出先機関5か所のVPN工事を実施。 | 効果的であった。 本庁と出先機関の接続環境が良好になり、スムーズなやり取りができるようになった。そのため本庁と出先機関の不要な往来が減り、3密の軽減につながった。 | 総務政策課 |
| 34 | 新型コロナウイルスPCR検査費補助事業 | 新型コロナウイルス感染症の感染を危惧する住民が自己負担によりPCR検査を受けた場合に、費用の半額を15,000円を上限として支援する。 | R3.1 | R3.3 | 159,000 | 159,000 | 自己負担によりPCR検査を受けた方への補助。 R2年度4件申請、R3年度8件申請 | 効果的であった。 感染を早期に発見することができ、感染拡大防止につながった。 | 健康福祉課 |
| 35 | 自由通路コロナ対策改修事業 | 橋上駅舎の待合所の狭小な状況に配慮し、接続する自由通路に3密回避対策を施すことにより、感染拡大を防止する。 | R2.12 | R3.12 | 12,320,000 | 3,600,000 | 既存の自由通路にどのような感染拡大防止策が行えるのかを専門のコンサルを交え検討し設計を行った。 | 効果的であった。 感染拡大防止予防対策の決定と実施に向けた準備ができた。 | 基盤整備課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 | | 実施状況 | 効果 | 担当課 |
|-----|--------------------------|---|-------|------|------------|------------|----------------------|---|--------|
| | | | | | | うち交付金 | | | |
| 36 | GIGAスクール関連 公立学校情報機器整備事業 | GIGAスクール構想関連事業等との連携による児童生徒・学生や教員が学校で使うICT環境の整備・運用経費等のうち、他の支援施策の対象とならない又は超える部分。生徒用タブレット端末の1人1台整備と行う。 | R2.12 | R4.3 | 44,022,000 | 18,975,160 | 令和3年度2学期から児童生徒への供用開始 | 効果的であった。 新型コロナ禍においても学びを止めることなくICTにおける学習環境を整備できた。また、コロナによる非常時の持ち帰り学習にも対応できる授業の研究を開始することができた。 | こども教育課 |
| 37 | 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金 | GIGAスクールのためのネットワーク環境施設整備のうち、地方負担部分。 ネットワーク環境施設整備に要する費用。 | R2.12 | R4.3 | 20,733,900 | 12,217,000 | R3年8月6日整備完了 | 効果的であった。 大人数の集合を避け、各教室でできる学習の幅を広げることができた。また、コロナによる非常時の持ち帰り学習にも対応できるようなICT教育を開始できた。 | こども教育課 |
| 38 | 公立学校情報機器整備費補助金 | GIGAスクールのためのGIGAスクールサポーター配置支援のうち、地方負担部分。 GIGAスクールサポーター配置に要する費用。 | R2.12 | R4.3 | 1,837,000 | 919,000 | 令和4年1月20日業務完了 | 効果的であった。 新型コロナ禍においても学びを止めることなくICTにおける学習環境を整備できた。専門的な知見を有したGIGAスクールサポーターの配置によってよりスムーズなICT環境の整備ができた。 | こども教育課 |